



**H30年度 四国環境パートナーシップオフィス管理運営等業務
年次報告書（概要版）**

平成31年3月

四国環境パートナーシップオフィス（四国EPO）

■今年度（H30年度）事業に関わる特筆事項

1. あらたなステークホルダーとの関係強化

- ・ 第五次環境基本計画や協働ハンドブック等のツールを活用し、自治体や企業、大学との関係性構築ができた。
- ・ ESD推進拠点に企業を登録、新たな一石を投じた。

2. これまでの事業ノウハウ、蓄積を新たな事業で活用

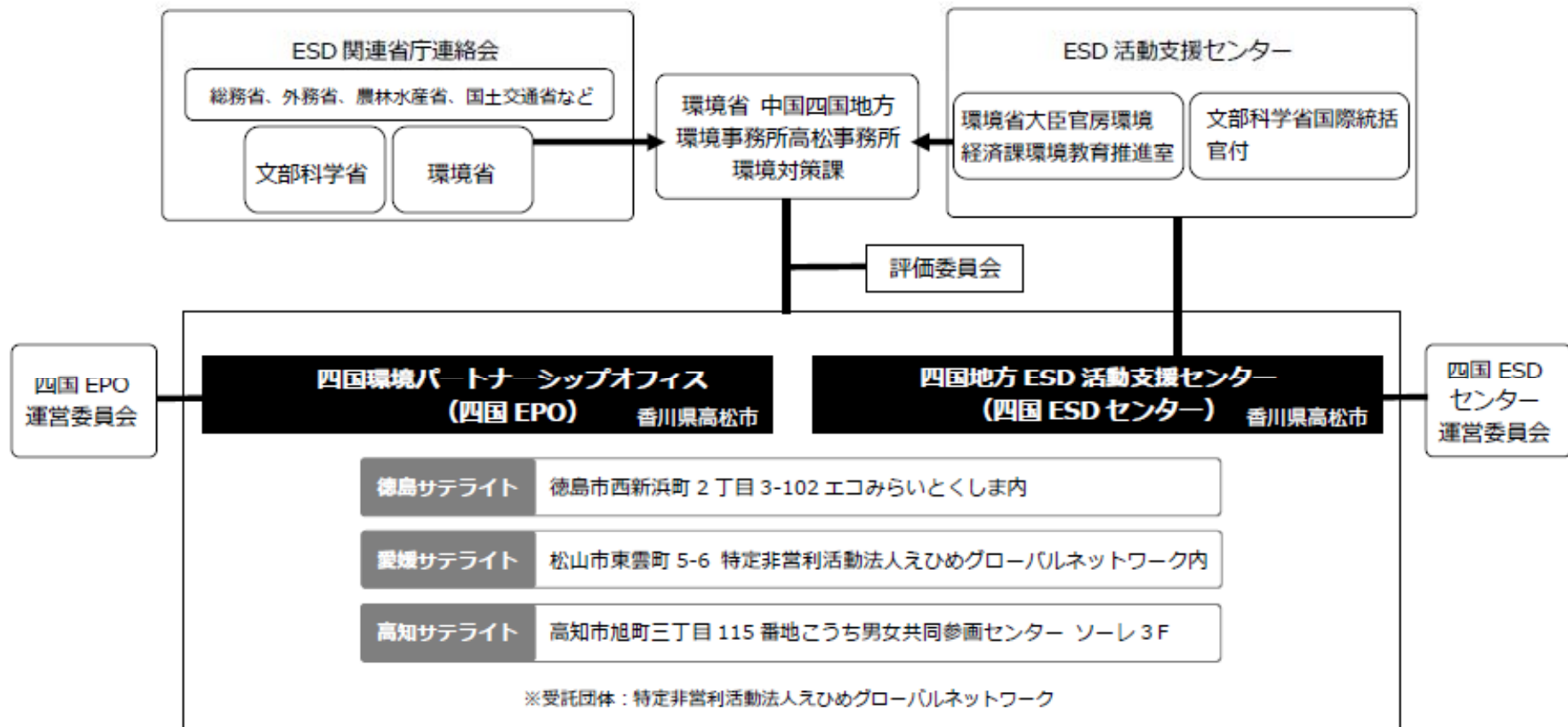
- ・ テレビ会議システムを導入し、4県へのスタッフ配置、運用
- ・ 主催、共催会議等でのテレビ会議システムの活用
- ・ 「四国」という枠組みで考えるスタッフの人材育成

3. EPO業務の濃淡・強弱

- ・ EPO業務で得たつながりやノウハウ、蓄積を四国ESDセンターや各種事業で活用、展開
- ・ 西日本豪雨災害の支援現場、団体に関わることによる、中間支援活動の普及啓発（環境、ESD等）

■ H30年度事業実施体制

四国環境パートナーシップオフィス・四国地方 ESD 活動支援センター 業務推進体制



1. パートナーシップ推進業務

(1) 中間支援機能の強化

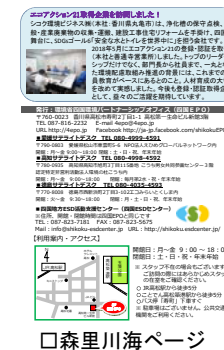
- ・各県にサテライトを設置し専従スタッフを配置。各県からの受発信を行う体制と関係性を確保した。
- ・環境カウンセラーらと連携し、エコアクションや環境活動に取り組む企業の紹介を受け、取材レポートにまとめた。
- ・地元企業や行政でのSDGsをテーマの勉強会や話題提供の機会が増え、ニーズや情報をつなげることができた。
- ・環境関連イベント等への出展による情報提供や普及啓発活動を行い、環境活動団体の紹介や四国EPO、ESDセンターをPRした。



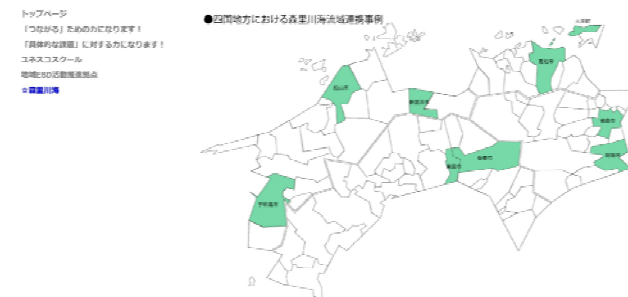
6月29日適応コンソーシアム会合の様子
(岡山県岡山市)

(2) 相談対応及び情報収集・発信

- 相談等をきっかけに、授業や講義の企画、講義での登壇など、つながりやきっかけがさまざまな成果へとつながった。
- HPやフェイスブック、季刊誌での広報だけでなく、訪問や取材等を通して、最近のトピックスやイベント情報を四国内外へ拡散した。
- 四国四県の地方新聞からSDGsをテーマとした記事の収集を行いデータベース化を行った。
- 夏、秋、冬、早春の年4回、紙媒体を作成し活用した。
- 四国内のESD関連情報をデータベース化し、可視化可能なデータについては、マッピング化してHPで公表した。
- 中間支援組織やEPOネットワークを活用して、情報交換勉強会や助成金説明会等を実施した。
- テレビ会議システムで県域を越えた情報共有を促進した。



← 広報紙
表紙
↓ マッピング
資料



(3) 政策提言支援

- ・ SDGs未来都市への応募をめざす、愛媛県松山市に対してSDGsの国内での取り組みや現状、今後の進め方に役立つような勉強会を実施。
- ・ 高知県物部川流域での地域循環共生圏推進可能性について、首長の考え方を聞くなどして情報収集を行った。
- ・ 高知県における木育推進、SDGs人材育成、香川県における食品廃棄物削減、徳島県におけるエシカル推進それぞれについて企画段階を含む、提案やアドバイスをを行った。



6月5日松山市環境モデル都市推進課
「SDGs協働勉強会」(愛媛県松山市)

(4) 持続可能な社会の実現に向けた協働取組モデルの創出及び支援

- NPO等環境活動や協働取組へ意欲のある団体が集まる会合に参加し、ニーズ把握をするとともに情報共有・提供を行った。
- グリーンギフト事業のフォローアップの実施
- 2017年7月豪雨で被災した地域の活動団体に関する情報収集等を行い、環境やESDにつながる情報提供等を実施した。
- 四国四県で、過去に事業採択経験のある団体が一度に集まり、現状の活動説明と協働のありかた、今後の方向性に関する事例紹介やケーススタディーなど、学びを深めるためのセミナーを開催した。



「持続可能な地域づくり」のヒント、ここにあります。

政策協働セミナー

～事例で学ぶ協働のコツ～

2018年10月30日(火) 13:00-16:30
2018年10月31日(水) 9:00-12:00

佐川町役場会議室
高知県高岡郡佐川町 1690-2
TEL:0889-22-7700

参加費無料：定員30名程度

持続可能な地域づくりには、多様な主体が地域課題にそれぞれの方を投入し、新しい合い言葉を生み出すことが大切です。高知県では平成25年から年間、地域活性化のための協働推進計画を策定して実施してきました。その取組から得た知見を整理し、行政・NPO・企業、地域住民など、多様な関係者と協働関係を築くための新たな取組のヒントを共有し、今後協働で取組むためのヒントを共有してまいります。

日程	1日目(30日)	2日目(31日)
13:00	開会 環境省国務事務局長あいさつ	9:00~12:00 (予定)
13:05	佐川町長あいさつ	①自治体職員の現場実学
13:10	協働推進説明・本日の流れ	・中野士雄(日高 水の中)
13:15	「政策協働を進めるために」	・荒明ラホ
	講師：平田由之 (一般社団法人 コミュニケーションデザイン代表理事)	
14:40	休憩	②事例紹介(協働推進計画一冊を各参加者から参観する)～
14:50	グループワーク「政策協働を地域で考える」	①うたまごと連携コンソーシアム(高知)
16:20	終了の挨拶	②NPO 高知のつなぐ(高知)
16:30	閉会	③特定非営利活動法人 社会の魂・我々(高知)
		④特定非営利活動法人 協働の杜(高知)
		⑤高知市 KITT 協働推進会議(高知)
		⑥特定非営利活動法人 協働の風

講師紹介

平田由之 氏(一般社団法人 コミュニケーションデザイン代表理事)
大学在学中、アメリカの環境NPOに所属したことをきっかけに、非営利セクターの活動に興味を持ち、2010年度NPO協働推進センター・協働推進パートナーシッププログラムを受賞。以来、2017年にコミュニケーションを軸とした、ワークショップの企画・プロジェクト推進のほか、電通専攻生協会のエコパートナー「環境」のコミュニティイベント、プロジェクトなど、様々な「協働」に関する活動を行っている。(高知県産物振興局 協働推進課)

主催 ● 環境省国務事務局長(パートナーシップオフィス 国産 EPO)
協力 ● 佐川町

←10月30-31日政策協働セミナー
(高知県佐川町)

↑12月11日うわじまグランマ事務所での意見交換(愛媛県宇和島市)

(4) 持続可能な社会実現に向けた協働取組モデル創出支援 イ) 持続可能な開発目標 (SDGs) をツールとした民間活動支援

- ・(特活)郷の元気審査会での審議を経て四国内で1件採択される

「かみかつ茅葺き学校」活動スタート!

「特定非営利活動法人 郷の元気」(徳島県)の活動が、環境省の「平成30年度持続可能な開発目標 (SDGs) を活用した地域の環境課題と社会課題を同時解決するための民間活動支援事業 (略: SDGs同時解決事業)」に採択されました!

「SDGs同時解決事業」とは

地域における環境課題への取組を、SDGs (エスディー・ジー・ズ) を活用することにより社会課題の取組と統合的に進めることで、それぞれの課題との関係の強化、ステークホルダーの拡大、課題解決の加速化等を促進することを目的としています。今回、各都道府県自治体が連携して行う民間事業として、全国で8つの事業が採択されました。



(4) 持続可能な社会の実現に向けた協働取組モデルの創出及び支援 ウ) 環境教育支援事業 (森里川海・流域連携テーマ研修会)

物部川の森里川海流域シンポジウム

～モノ・ヒト・コトでつながるレジリエントな地域づくり～

物部川流域では今何が起きているのか。全ての源であり生命を育む水を集める川での異変。気候変動の激化やさまざまな原因が重なり、流域の自浄能力の低下は予想以上に深刻になりつつあります。森、川、海に関わる全ての人のつながり・連携なしにこの課題は解決しません。キーワードは「水」そして「SDGs」。歴史から文化、生活、産業に関わるすべての人を知ってもらい、行動し、未来につなぐためにこのシンポジウムを開催します。

2018
10 | 13 (土)
14 (日)

【13日】高知県物部川流域
JR土佐山田駅集合
【14日】高知工科大学
香美キャンパス 教育研究棟 A109
(高知県香美市土佐山田町宮ノ口185)
参加費無料・定員50名程度



主催 ● 環境省四国環境パートナーシップオフィス (四国 EPO)
協力 ● 物部川 21 世紀の森と水の会、三鶴の森を守るみんなの会
後援 ● 高知県、香美市、香南市、南国市 (申請中)

スケジュール

10/13 (土) 流域視察

13:00 集合・受付 (JR 土佐山田駅前)
13:15 流域視察 (解説付き)
— 備り上げバスで移動します
— 別府峡、水鏡ダム、町田統合庁舎
【説明】
・岩神篤彦氏 (物部川 21 世紀の森と水の会)
・松浦秀俊氏 (物部川漁業協同組合)
17:30 JR 土佐山田駅構内 ホテルチェックイン (宿泊: 県外、遠方からの参加者優先)
18:30 夕食/懇談会 (希望者: JR 土佐山田駅近隣で予定。実費、会費制)

10/14 (日) シンポジウム

9:00 受付 (高知工科大学)
9:30 開会挨拶
宇賀神知剛氏 (環境省中国四国地方環境事務所四国事務所長)
9:45 講演 「いざなぎ流に見る地域の自然と文化」
講師: 梅野光興氏 (高知県立歴史民俗資料館学芸課チーフ)
10:05 森里川海クロストーク
・依光良三氏 (三鶴の森をまもるみんなの会代表)
・奥中智子氏 (株) わらびの代表取締役
・松浦秀俊氏 (物部川漁業協同組合組合長)
・兼松方彦氏 (物部川 21 世紀の森と水の会事務局長)
コーディネーター
・横山昌太郎氏 (無双地回取師役新記号事業部長)
11:45 昼食 (香美市の地元料理を堪能! 希望者事前予約要)
13:00 課題議論ワークショップ (流域戦略会議)
15:50 総評
16:00 閉会

参加申込書

申込締切 10月5日(金)

団体名 _____

団体の連絡先: (メール) _____ (電話) _____

お名前	当日の連絡先	13日(土)			14日(日)	
		出欠	宿泊	懇談会	出欠	昼食(弁当)
氏名	会場までの交通手段					
	車・JR・バス その他()					

※13日の視察募集人数は20名です。ご応募が多数の場合は調整させていただきます。ご了承ください。
※13日の宿泊については県外、遠方からの参加者を優先でご案内します。
※14日(日)のみの参加も可能です。出席する際の詳細につきましては、参加申込を頂いた後にご連絡いたします。
※お申込はメールかFAXでお願いたします。
※頂きました個人情報は本事業で緊急連絡の必要が起きた場合にのみ限って使用させていただきます。
※ご不明等につきましては、087-816-2232 (四国 EPO 電話) までお問合せください。

申込先: 環境省四国環境パートナーシップオフィス

E-mail: 4epo@4epo.jp FAX: 087-823-5675

(5) 地域におけるESD推進の取組支援

進捗概要は以下のとおり。それぞれ、個別事情に応じて、フォローアップを行い、プラットフォーム会議の中で実践報告を行った。

■ 徳島：ハレルヤスイーツキッチン

今年度は社員への周知から一歩踏み込み、SDGs実践を外に向けて発信する取り組みなどを企画し、実践。ESD拠点への登録も終わるなど、今後の継続的なつながりを確保できる体制を整備することができた。



パネルデザインの検討



リニューアル版パンフレット

(5) 地域におけるESD推進の取組支援

■香川：香川ESDまつり実行委員会

イベント開催に向けて、多様な主体の参画を呼びかけ実行委員会形式で運営を行った。昨年度以上の集客を確保できた。



来場者・出展者が公園を満喫



イベント後は
参画団体に振り返り

the 3rd. Education for Sustainable Development
香川 ESD まつり

善通寺五岳の里市民集いの丘公園
2018.11.11日
10:00~16:00 雨天決行

自然の教室
秋の公園で森を歩いてみよう!
拾った自然の恵みで工作しよう!
11:00~12:00
13:00~14:00
14:00~15:00

ESDって???
と思ったら...
ウラ見てみよう!

おいしい幸せ♡
ハチミツいせがき
お菓子作りやってみよう!

公園で未来のことを考えてみよう!

リユースっておもしろい!
木の端材 → クリスマスツリー
いろいろな使える新聞バック
好きな糸で織るオリジナルグッズ
牛乳パックでエコ工作
服もってきてな〜!
着なくなったモノの引き取り・交換&工作

香川のこと、再発見!
ハマゴウの実 香り袋作り!
さめき三日の1つ「わた」にふれてみる!
高松盆栽をもっと身近に!

新しい情報はココでゲット!

主催：香川ESDまつり実行委員会 協力：四国新聞パートナーシップオフィス(四国EPO)
後援：讃岐省中国の国地方連携事務所・四国事務所、善通寺市、善通寺市教育委員会、四国新聞社、四国ESDセンター
参加団体：(株)田舎商店、カガカン工房、あそ美工房、ミニマル農産NPO法人フォレストーズががわ、さほこがたり市とBUZZWORKS、お片付けの学び舎、香川大学 Borsari-Girls Project、しまんと新聞ぼっく、香川大学生ESDプロジェクト、善通寺希望の家、和(mico)、コープ自然派しこく、香川県海ごみ対策推進協議会、香川の水辺を考える会、000/ハナウタ劇場、善通寺こどもエコクラブ
【お問合せ・申し込み】香川ESDまつり実行委員会 井上：090-7140-5571 / 四国EPO TEL:087-816-2232 FAX:087-823-5675

(5) 地域におけるESD推進の取組支援

■ 愛媛：東雲公園

松山市立東雲小学校児童との協働により、サツマイモ植栽や栽培に関わる環境学習の実施などを行った。大学生と（特活）えひめ311等を含めた、主体的な関わりとやりとりにより、水やりや草取り等、畑の管理も順調に行われ、無事、収穫体験を実施することができた。



6月：サツマイモや虫のクイズに挑戦後、芋苗の植え付けを体験



6月活動後：各児童が新聞を作成。
この授業が多くの気づきを生んだ様子
がうかがえた。



9月：畑の草取り、虫探し中。
お芋ができるまで手間が
かかることを実感。

(5) 地域におけるESD推進の取組支援

■ 高知：土佐山田ショッピングセンター

昨年度までのツールやノウハウを活かし、外に向けて発信する取り組みとして、出前講座やセミナーの開催、域外での講演などを企画し、実践した。



急須を使い、
お茶を美味しく入れる体験



クイズ形式で、
生産者からお茶について学ぶ



消費者の視点で作ったポケットに
入るサイズのリーフレット

(6) 四国環境パートナーシップ表彰の実施

チラシを作成し、NPOや学校、企業等、約1,000団体へ送付、応募を呼びかけた。締切を1月上旬に設定、同月中に審査委員会を実施し、表彰団体5団体を選定した。2月に表彰式を実施今年度も三井住友海上あいおい生命保険（株）四国営業部より、ペーパーレスによるエコ申込手続きで得た資金を協賛いただき、表彰団体へ副賞として賞金を提供できた。

平成30年度「第4回四国環境パートナーシップ表彰」受賞者決定！

2月23日に表彰式が行われ、環境省中国四国地方環境事務所四国事務所の宇賀神所長から、賞状の授与と、協賛いただいた三井住友海上あいおい生命保険株式会社四国営業部からの特別賞の贈呈が行われました。榎木翼悟（新居浜市教育委員会事務局次長兼教育力向上戦略監）氏の基調講演や、各団体の活動発表の後に交流会も行われ、終始和やかな雰囲気となりました。

ESD環境教育部門

環境教育の推進や支援を目的に、四国内の多様な主体（NPO/NGOや企業、学校、行政等）と連携・協働し、持続可能な開発のための教育に資する活動・団体が対象

優秀賞

- ◆東かがわ市北山森林ボランティア会 ⑤



それぞれの取組に関する質問や、情報交換など、出席者間で新たなつながりが生まれました。



おめでとうございます！！

受賞されたみなさん



地域課題解決部門

環境や他のSDGsに示されているような、持続可能な開発のための教育に資する取り組みを行っている団体や優れた取り組みが対象



パートナーシップ大賞（あいおい特別賞）

- ◆NPO法人ゼロ・ウェイストアカデミー ①
(NPO法人ゼロ・ウェイスト普及啓発活動)

優秀賞

- ◆NPO法人オリーブ生活文化研究所 ②
(瀬戸内オリーブ共和国活動
<オリーブを利用し生活文化の質を高める取り組み>)

優秀賞

- ◆プロジェクト地球っ子ひろば ③
(親子で水と生きものがつなぐ森・里づくり)

優秀賞

- ◆室戸ジオパーク推進協議会 ④
(子供たちの放課後の楽しみ)

「四国環境パートナーシップ表彰」とは

環境に対する諸課題の解決のためには、地域でさまざまな主体を巻き込んだパートナーシップづくりが重要です。四国環境パートナーシップオフィスでは、「ESD環境教育部門」、「地域課題解決部門」の2部門において、活発なパートナーシップ活動を展開した団体や優れた取り組みに対して表彰を行っています。来年度も実施致しますので、ぜひ皆さまの取り組みをお寄せ下さい！

2. 四国ESDセンター関係業務

各県で開催されるESD関連テーマの会合や広報、学校や自治体訪問を通して、センターをアピールするとともに、情報提供や情報収集に努めた。関連情報については、ESDセンターとHP等を通じて共有するとともに、各種SNS等を活用し幅広く情報発信を行った。

SDGsラウンドテーブルやアートフェスティバルなど、SDGsに関係する企画展開の相談や幼稚園でのESD推進、次世代エシカルに関する取り組み、緑の少年団活動など、これまでの環境の枠をこえるようなスケールでの事業展開や推進に関する相談があり、取り組みアイデアや連携先の紹介等で支援を行った。



2. 四国ESDセンター関係業務

台風接近や豪雨災害等の影響もあり、イベント開催について二度に渡り延期することとなり、11月に実施することができた。また、全国ユース環境活動発表大会四国大会の実施に協力、積極的な活動を行う高等学校への声かけや審査委員の推薦などを行った。

おかやま環境教育ミーティングへ協働で出展し、資料提供や説明のノウハウを共有した。その他、豪雨災害後の中間支援ネットワークや災害支援の情報共有・意見交換など、隣接センターとして双方の課題等の共有を積極的に行った。中国地方で計画されたユース関連イベントへは3月に出席した。

フェアトレード研修・ネットワーク構築支援(5、6月)、地域教育実践交流集会実行委員会参加(5月)、新居浜市ESD推進事業協議会出席(5月)、同ESDワーキンググループ会議出席(12月)、高知市教育委員会表敬(5月)、宇和島市教育長面談(8月)、平成30年7月豪雨情報共有会議参加(9月)、松山市とフィリピン国際交流事業企画支援(10月)など、環境だけでなく、国際、教育、防災に関わるニーズ把握や相談対応を実施した。

(2) ESD学びあいフォーラムの開催

ESD ▶▶2018
学びあいフォーラム
学び×ハタラク
 ～次世代を担うユースとともに地域の課題解決をめざそう～

2018年
11月11日 日 参加費：無料
 13:30 - 16:00
 新居浜テレコムプラザ (1階会議室)
 愛媛県新居浜市坂井町2丁目3-17 ※JR新居浜駅より徒歩2分

企業 × ユース

4 質の高い教育をみんなに
 17 パートナリシップで目標を達成しよう
 12 つくる責任 つかう責任

SDGs (持続可能な開発目標) の達成に向け、ここ四国ではどんな取り組みや学びがあるのでしょうか。
 今回は企業やユース世代の取り組み、コラボレーション(協働)について参加者同士が学び、交流することを目的として開催します。
 四国のESDを一緒に考えてみましょう。ぜひご参加ください。

プログラム

13:00 - 受付
 13:30 - 開会挨拶 中国四国地方環境事務所四国事務所
 13:35 - ◆企業の取り組み紹介
 池内計司 (IKEUCHI ORGANIC 株式会社代表取締役)
 村田友子 (株式会社土佐山田ショッピングセンター地域密着プロジェクトリーダー)
 ◆ユース発表: 四国の学生・生徒による発表
 ◆つながるトーク「次世代のユースとともに地域の課題解決をめざそう」
 ◆総評
 16:00 - 閉会

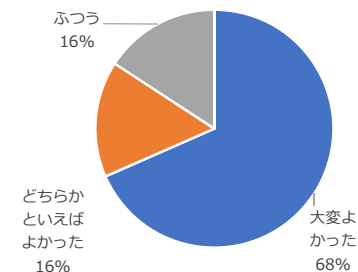
問合せ・申込み 参加を希望される方は、お名前とご連絡先を以下までお知らせください。(11/8 締切)
 四国地方 ESD 活動支援センター (略称:四国 ESD センター)
 電話: 087-823-7181 FAX: 087-823-5675 メール: info@shikoku-esdcenter.jp

主 催: 四国地方 ESD 活動支援センター、中国四国地方環境事務所四国事務所
 協 力: 環境省四国環境パートナーシップオフィス (四国 EPO)、新居浜グローバルネットワーク、ESD 活動支援センター
 後 援: 徳島県、香川県、愛媛県、高知県、徳島県教育委員会、香川県教育委員会、愛媛県教育委員会、高知県教育委員会、(種別未定) 新居浜市、新居浜市教育委員会、愛媛新聞社、四国新聞社、高知新聞社、徳島新聞社、NHK 松山放送局

1. 取組紹介に関して

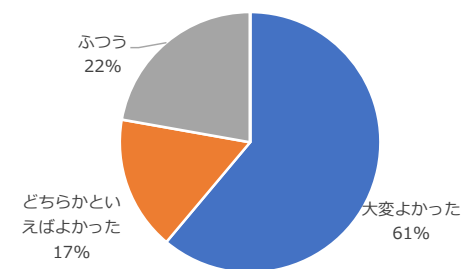
1) 取組紹介 (IKEUCHI ORGANIC 株式会社) の感想

項目	人数 (名)
大変よかった	13
どちらかといえばよかった	3
ふつう	3
あまりよくなかった	0
まったくよくなかった	0
無回答	0
合計	19



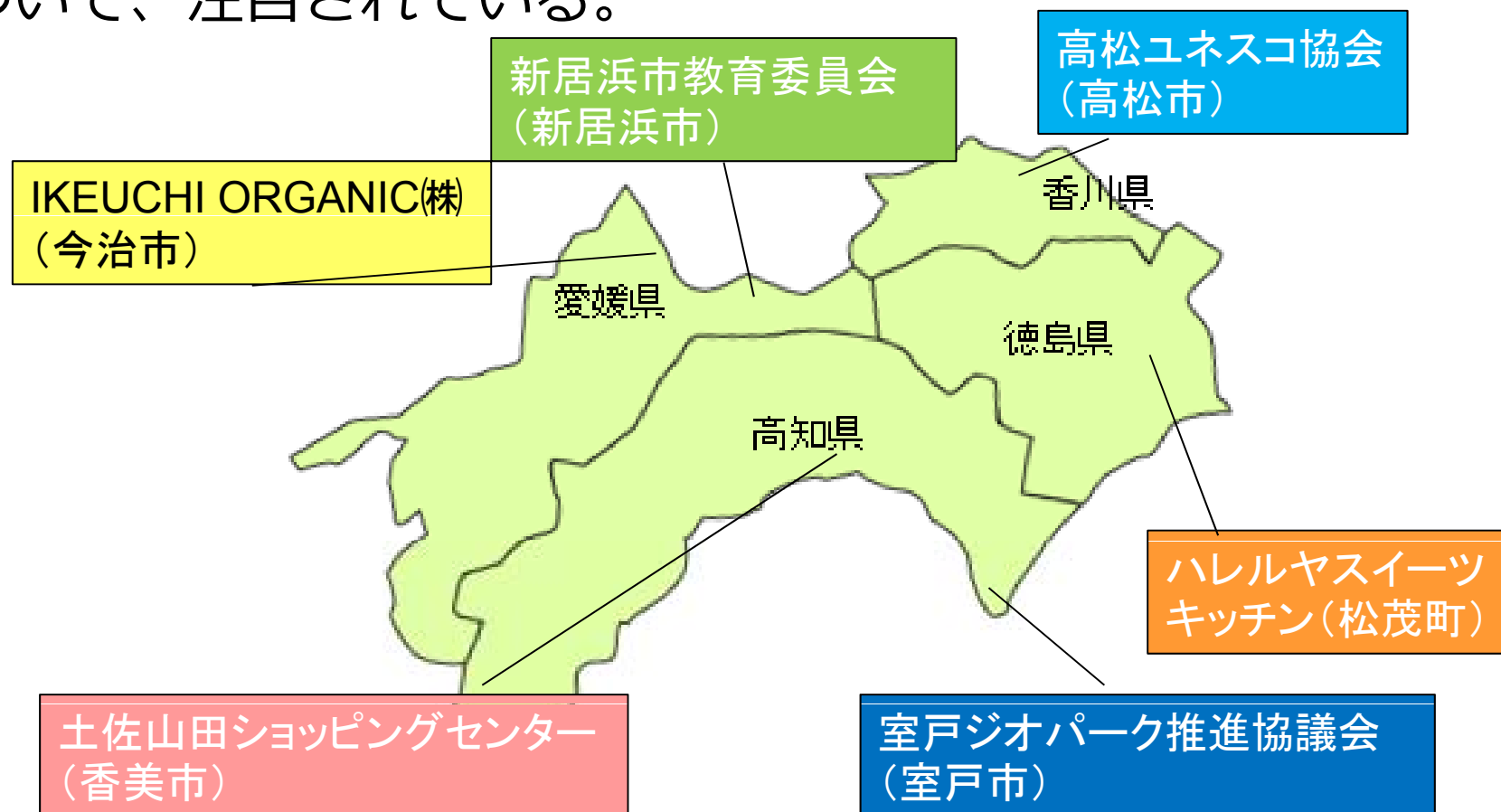
1. ESD 学びあいフォーラム全体に関して

項目	人数 (名)
大変よかった	11
どちらかといえばよかった	3
ふつう	4
あまりよくなかった	0
まったくよくなかった	0
無回答	1
合計	19



(2) ESD活動に関するネットワーク構築 イ) 地域ESD拠点への登録

地域ESD拠点の登録推進等、各関係機関への働きかけにより、四国における地域ESD拠点は6件となった。四国は民間企業や教育委員会など、多様な主体からの登録があり、拠点連携の可能性について、注目されている。



(4) 人材育成 ア) ユース世代取組交流会

ユース世代交流会

～SDGs達成に向けてのワークショップ～

SDGsは持続可能な開発目標のこと。僕たちでつくるぼくらの未来!

ESDは未来のための学びあい。だから私はESD!

2018年
11月10日(土) 18:00 - 21:00
11月11日(日) 9:00 - 11:30 / 13:30 - 16:00

マリナーパーク新居浜
(愛媛県新居浜市塩生3丁目乙324番地)

定員 30名 / 参加費無料

(宿泊費別)

※食事は別途実費1,500円(会場での夕食・朝食)が必要
です。11日の朝食は、各自の車でとどりいただきます。

申し込み締め切り日: 10月30日(火)

※先着順、定員になり次第締切

ESD (Education for Sustainable Development) は子どもから大人まで誰もが取り組める学びです。今回は四国の中・高・大学生が一堂に会し、新聞等を活用したワークショップを通じて地域の課題を見つけ、ESDに求められる資質を伸ばしながら、どうすればよいかを一緒に考えます。

講師 鈴木 克徳氏 (ESD活動支援センター副センター長)

対象 中高大学生、ESD実践者

内容 **10日(土)**
18:00～ 夕食交流会、オリエンテーション
19:00～ アイスブレイク
新聞ワークショップ
21:00～ 入浴、自由交流
23:00 就寝

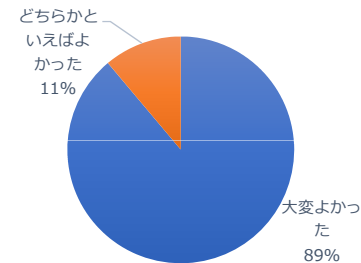
11日(日)
7:00～ 起床、朝食
9:00～ ワーク、成果発表等
移動、昼食(各自)
13:30～ 「ESD学びあいフォーラム」にて発表
16:00 終了、解散 ※詳細は募集要項

問合せ ※参加を希望される方は、①学校名、②お名前、③ご連絡先、④当日の交通手段、⑤活動発表希望の有無を以下までお知らせください。(翌日の「ESD学びあいフォーラム(※裏面参照)」では、⑤当日活動発表の時間(各活動10分程度)があります。発表者には一部交通費の補助を予定しています。)

四国地方ESD活動支援センター (四国ESDセンター)
電 話: 087-823-7181 FAX: 087-823-5675 メール: info@shikoku-esdcenter.jp

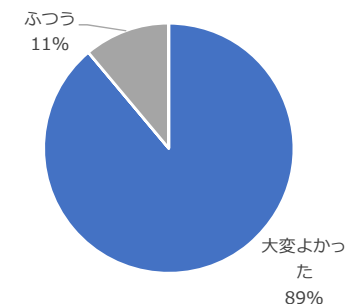
1. ESD・SDGs 説明に関して

項目	人数(名)
大変よかった	8
どちらかといえばよかった	1
ふつう	0
あまりよくなかった	0
まったくよくなかった	0
無回答	0
合計	9



3. 成果発表会について

項目	人数(名)
大変よかった	8
どちらかといえばよかった	0
ふつう	1
あまりよくなかった	0
まったくよくなかった	0
無回答	0
合計	9



主 催: 四国地方ESD活動支援センター、中国四国地方環境事務所四国事務所
 共 催: 新居浜グローバルネットワーク
 協 力: 環境省四国環境パートナーシップオフィス(四国EPO)、ESD活動支援センター
 後 援: 徳島県、香川県、愛媛県、高知県、徳島県教育委員会、香川県教育委員会、愛媛県教育委員会、高知県教育委員会、
 財団法人 新居浜市、新居浜市教育委員会、愛媛新聞社、四国新聞社、高知新聞社、徳島新聞社、NHK 松山放送局

■ 四国事務所との打ち合わせ、施設・物品の管理等

毎週月曜日10時からのスタッフ会議にあわせて定例会を実施。1週間の活動報告や今後の予定を確認しながら、事業を進めた。平成30年7月豪雨により、愛媛県南予地域が被災したことについて、事務所と意見交換を行い、有事の際の業務の進め方や中間支援連携の可能性、情報共有のありかたなどについて、意見交換を行った。

担当官と打ち合わせや相談を行いながら、適切に施設・物品の管理を行った。今年度は個人情報管理やセキュリティ、有事の際の対応等に関して、専門家からのアドバイスを受け、事業実施に活かした。

四半期ごとの頻度でスタッフ会議を行い、事業進捗を把握するとともに、業務フローの改善や作業分担、課題等について話し合うなど、業務改善とスタッフのスキル向上に努めた。

高知工科大学3名、高知市立旭中学校2名、愛媛大学4名のインターンシップ・職場体験生の受け入れを行った。